

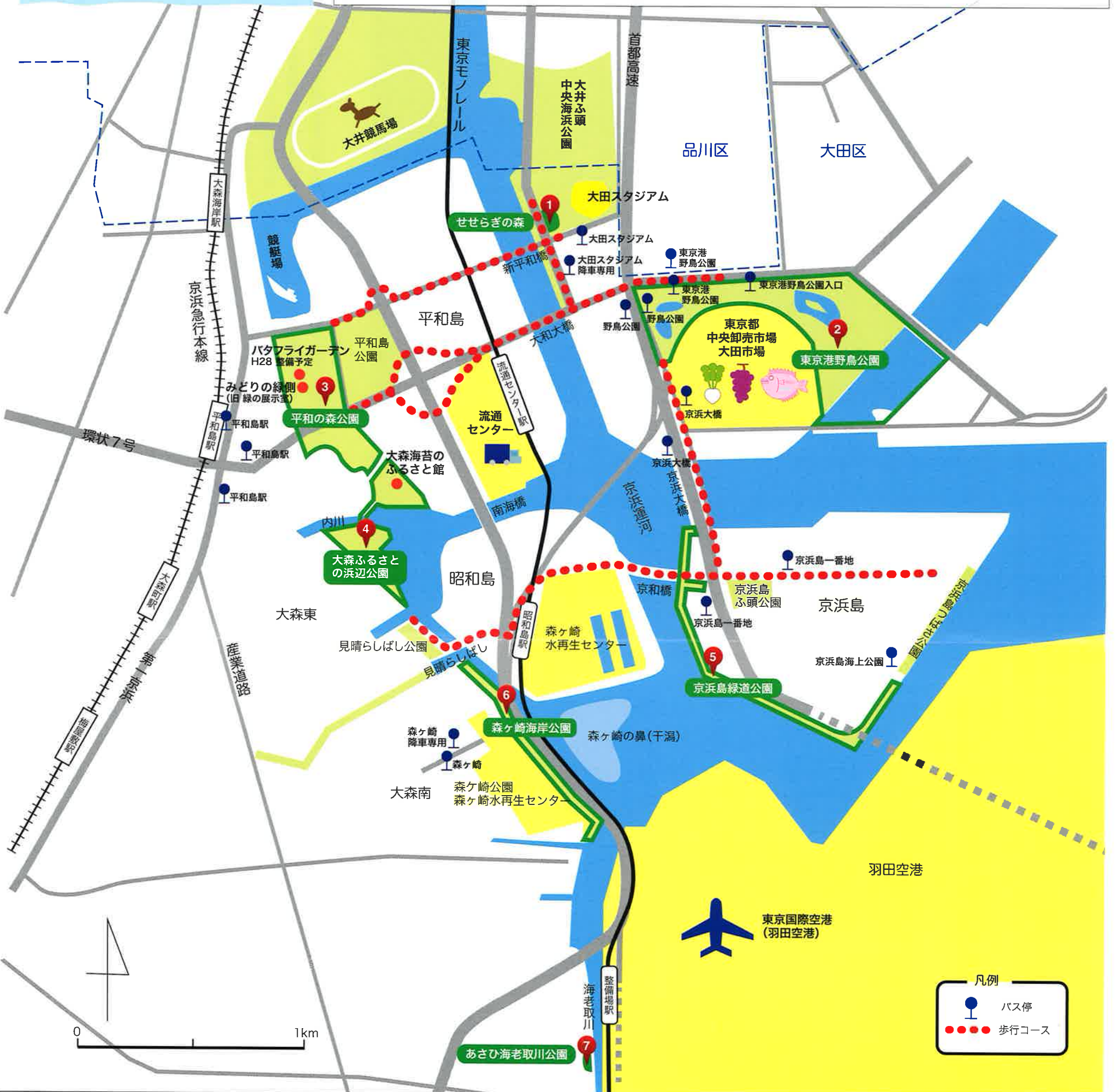
海と埋立地の のみち

大田区 臨海部

1 せせらぎの森
(大井ふ頭中央海浜公園内)
大田スタジアムに隣接。東京都が管理する大井ふ頭中央海浜公園内にあり、北側にはくすのき広場がある。なかにはため池があり、親子がザリガニ釣りを楽しんだり、周囲のフェンスにはヤブガラシ、クズなどが繁茂し、吸蜜するチョウ類の集まる場所になっている。



2 東京港野鳥公園
管理事務所からネイチャーセンターまでは、芝生広場、いそぎ橋、そして東観望広場を経由する園路は両側に樹木に覆われていて、多様な景観を持っている。また、自然生態園には田んぼや畑、雑木林が配置されている。週末にはレンジャーやボランティアによる野鳥や植物、干潟の生き物の観察などが行われている。



3 平和の森公園
平和の森公園は環状7号線北側と南側に分かれていて、北側には釣りができる池や噴水、平和の広場があり、みどりの緑側(旧緑の展示室)、ブランコ等の遊具、生垣の見本園がある。南側にはフィールドアスレチック場がある。クスノキなどの常緑樹、コナラなどの落葉樹があり、夏には何種類ものセミが観察できる。



4 大森ふさとの浜辺公園
園内には大森海苔のふさと館があり、浜辺橋から貴船水門までの公園内には400メートルの白い砂浜がある。砂遊びや磯遊び、干潮時には大森海苔のふさと館職員による自然観察なども行われている。全体が緩やかな芝生で、西側道路沿いには約270本のクスノキ並木がある。



5 京浜島緑道公園
京浜島緑道公園から京浜島つばさ公園の海岸に沿った遊歩道は、対岸に森ヶ崎水再生センター、森ヶ崎の鼻(干潟)があり、5月から8月にかけてはコアジサシ、冬には多くの種類のカモ、カモメなどが見られる。また1年を通じてカワウ、カルガモなどもいて野鳥観察に適した観察路でもある。樹木は、埋め立て造成の際に植えられた耐湿性のあるクスノキ、マテバシイなど常緑樹が多い。



6 森ヶ崎海岸公園
呑川水門から新呑川河口までの森ヶ崎海岸公園は、森ヶ崎水再生センターと首都高速道路1号羽田線、東京モノレールに挟まれた遊歩道だが、合い間から昭和島、京浜島、羽田空港に囲まれた森ヶ崎の鼻(干潟)を身近に見ることができ、水鳥の意外な観察ポイントでもある。



7 あさひ海老取川公園
公園入口の遊歩道にはヤマモモ並木があり、中央には芝生の広場がある。



海と埋立地の ブレートライアングルプロジェクト

クスノキとアオスジアゲハ

アオスジアゲハは、大田区の木であるクスノキの葉を食草とするアゲハチョウ。空港臨海部をチョウの舞うロマンチックな空間の創出を目指して進められている大田区プロジェクト。



京浜島緑道公園 昆虫のいる風景

多種類の植物や花に誘われるように多くの昆虫がいる。どの昆虫も捕食者につつかられないように巧みな生活術を身につけているので、ゆっくり観察を。



リュウキュウツツヤハナムグリ (コガネムシ科)
何らかの過程で持ち込まれ、都内で繁殖した国内移入種。

ナナフシモドキ (ナナフシ科)
大人の手ほどある大型のナナフシ。広葉樹の葉を食べる。

京浜島緑道公園 花のある風景

埋立地なのでこの地域特有の植物はないが、四季を通じていろいろな花が楽しめる。



アオマツムシ (マツムシ科)
樹上でリュウリュウと鳴く。外来種。

キマワリ (コムシダマシ科)
立ち枯れ木などに集まり、日中、樹皮の上を活発に動き回る。